

緩和ケアチーム のご案内

西宮市立中央病院
疼痛・緩和センター
緩和ケアチーム

入院施設

アメニティーに配慮した
緩和ケア病室を2室設置しております。

よくある質問

Q 今、がんの治療中なのですが、緩和ケアは受けられますか？

A はい、受けられます。

病気の進行度や治療の状況に関係なく、身体と心のつらさのある方はどなたでも、治療と並行してサポートを受けることができます。

Q 主治医は交代するのですか？

A いいえ、交代しません。

緩和ケアチームは主治医や担当看護師と連絡をとりながら、苦痛を和らげるための方法を検討します。治療や検査などは引き続き主治医により行われます。

Q 退院後も緩和ケアを受けられますか？

A はい、受けられます。

地域医療の場でも、緩和ケアの提供体制が整えられつつあります。緩和ケアチームも地域との連携がスムーズにできるよう支援をします。また、入院中に緩和ケアチームにご相談をいただいた患者さんは緩和医療外来を受診していただくこともできます。いずれの場合も、退院後の緩和ケアを希望される場合は、主治医や病棟スタッフにご相談ください。

「緩和ケアチーム」のサポートを希望される場合は、主治医または担当看護師にその旨をお伝えください。

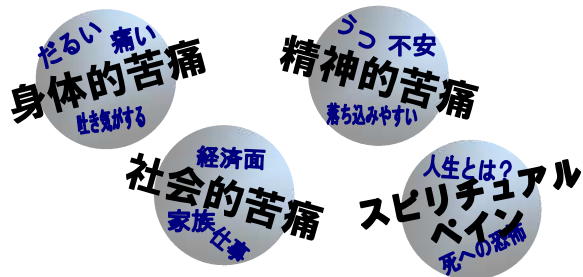
西宮市立中央病院緩和ケア診療指針

西宮市立中央病院における緩和ケア診療は、がん対策基本法(平成18年6月23日法律第98号)の基本理念に基づき、次の指針の下に行うものとする。

- 一． 患者の状況に応じて、早期から疼痛等の緩和を行うとともに、根治治療(キュア)が望めなくなった患者に最後まで寄り添うことを目的として行う。
- 二． 医師、看護師、薬剤師、栄養士、リハビリ技師などが緩和ケアチームとして、主治医や患者(家族を含む。以下同じ。)と共に情報を共有しながら、全員が対等な立場で診療方針を協議し、決定する。
- 三． 身体的な痛みのみならず、死へ向かう苦しみ(スピリチュアルペイン)、家族への配慮(グリーフ)などの緩和に努める。
- 四． みずから「痛み」や「苦しみ」をうまく表現できない患者についても、その訴えを可能な限り理解して問題解決に努める。
- 五． 患者中心の緩和ケアを実践するために、病院内でのチーム活動はもとより、地域との連携に努める。

緩和ケアとは

がんなどの病気では診断や治療を受ける中で、様々な身体や心のつらさが生じてくる場合があります。



緩和ケアとは、患者様が自分らしく過ごしていただくよう、これらのつらさを予防したり、和らげたりするための医療です。



緩和ケアチームとは

がんなどの病気が診断された時から、緩和ケアが適切に提供され、患者様とご家族ができるだけ安定した状態で過ごすことができるよう、主治医と共に支援する医療チームです。医師や看護師、その他のスタッフで構成されます。

構成メンバー

医師

(日本緩和医療学会暫定指導医3名: 麻酔科 (ペインクリニック) 外科 内科 皮膚科 精神科)

看護師 薬剤師 栄養士 リハビリ技師

それぞれの役割

医師 痛みなどの身体の症状を緩和する

がんに伴う痛み・吐き気・食欲不振などの症状改善方法について検討します。そして主治医や病棟スタッフと話し合いながら、これらの様々な苦痛を可能な限り和らげていきます。また、がん治療に伴う症状についても必要な対策を検討します。

医師 気分の落ち込みなど、心の症状を緩和する

治療を受ける中で、不安や落ち込みなどが強くなる場合があります。このような心のつらさを和らげ、適切な精神的ケアがもたらされるよう働きかける役割を担います。また、「寝つきが悪い」「熟睡できない」などの問題についても質のよい睡眠が得られるよう対策を検討します。

看護師 緩和ケアを支援する

苦痛な症状を和らげるとともに、活動・食事・睡眠・気分転換などにより、日常生活の質を可能な限り高く保てるよう、担当看護師とともに患者様やご家族を支援します。また、希望に応じて、苦痛を和らげるためのリラクゼーションなど薬物療法以外の方法についての情報提供も行います。

薬剤師 薬に関する調整や情報提供を担当する

苦痛を和らげる薬の効果と副作用、他に使用している薬との飲み合わせについて確認し、患者様ごとに最適な薬の選択、用量の調整が行われるよう検討します。また、患者様とご家族の希望に応じて薬に関する情報提供を行い、質問などにお答えします。

栄養士 食事に関する調整を担当する

吐き気や食欲不振などの症状のある場合、「食べられない原因」を探し、患者様一人ひとりに合わせ、食習慣や嗜好を取り入れた食材選択・調理法を検討し、必要な栄養剤の選択を行います。また、在宅での調理法や栄養剤の選択など、ご家族のご質問にもお答えします。

リハビリ技師 生活の質が保てるよう支援する。

身体的・精神的・社会的にも可能な限り質の高い生活が送れるよう、リハビリテーションを行います。患者様やご家族のご意向を伺いながら、物理療法、姿勢・肢位の調整、呼吸介助、リラクゼーション、各種自助具や補装具を用い、疼痛、呼吸困難感、浮腫などの症状緩和や拘縮、褥瘡予防をしていきます。